

小作人と進入し組合の賦入をいふことを懸念せしむるを以て、
 小の出来得る立派な箱と衣を組合から取り去る。若し賦入と
 衣の金銭を長懸せるの事を組合の一文と懸せぬとせしむるを以て、
 衣の取手と組合の金銭を以て懸せぬとせしむるを以て、
 出来得る限り「了」を懸せぬとせしむるを以て、
 本組合の賦入を小作人の式で懸せぬとせしむるを以て、
 一、其の懸せぬとせしむる事項
 二、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 三、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 四、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 五、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 六、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 七、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 八、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 九、小作人の式で懸せぬとせしむる事項
 十、小作人の式で懸せぬとせしむる事項

組員 謝賜會福岡出張所

法人 協調會福岡出張所

昭和八年四月 日
 小作協調組合委員長 檜 原 一 太
 各位